

白浜レスキューネットワーク通信 8月号

〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町 3137-8

TEL&FAX0739-43-8981

<http://www.aikis.or.jp/~fujivabu/nrsv1.htm>

e-mail yabiumi@yahoo.co.jp

理事長 藤藪庸一

郵便振替 00920-6-85589 口座名：白浜レスキューネットワーク
 紀陽銀行白浜支店普通預金 589389 口座名：NPO特定非営利活動法人
 白浜レスキューネットワーク

自殺者救済活動

8月1日～8月31日

電話件数 84 件

保護件数 6 件、6 人(男性 6 人)

帰宅件数 6 件、6 人(男性 6 人)

○5日、警察から連絡を受け、男性を保護した。車の排気ガスで自殺をしようとしていたところを保護された。話をしている中で落ち着き、実家に戻る決心をすることができた。

○7日、白浜駅から男性がそちらに行きたいと話しているという連絡を受けた。すぐに迎えに行くことができなかったため警察が男性を保護。警察から当 NPO に来ることになった。しかし深夜に抜け出し迷子になり、再度警察に保護された。

○18日夜、三段壁から電話があり、男性を保護した。近くの飲食店の方が心配して連絡を受けた。話をしている中で落ち着き、翌日帰宅した。

○30日、相談の電話を受け、男性が当 NPO を訪ねてきた。仕事もしており、家族もいるが人間関係で悩んでいた。話をしていく中で家族ともしっかりと話をする決心がついた。その日に家族が迎えにきた。

生活自立支援活動

8月1日～8月31日

滞在者数 13 人(男性 13 人)

○旅館で配膳の仕事をしている男性は、今月も落ち着いて仕事をすることができた。コペルくんでも子どもたちと率先して関わっている。

○まちなかキッチンで配達や皿洗いをしている男性は、家族に借金をして出てきているため、少しずつでも返していこうと指導している。

○まちなかキッチンで働いている 50 代の男性

は、胃の調子が悪く病院にいき薬をもらった。経過を観察している。

○まちなかキッチンで皿洗いやお米とぎをしている男性は、今月から徐々に配達にも加わるようになった。自転車を購入し、時間のある時にはサイクリングに出かけている。

○ホテルの調理場で働いている男性は、今月の忙しい中頑張ることができた。休みの日には子どもたちと遊んでいる。

○警備会社で働いている男性も落ち着いて仕事をすることができた。お盆には実家に戻って家族と話をしてくることができた。

○皿洗いの仕事をしている男性も落ち着いて仕事に通っている。仕事に行く前に庭の草むしりなど積極的に奉仕活動をしている。

○ホテルの調理場で働いている別の男性は今月もほぼ休みなく働いた。来月自立に向けて頑張っている。

○ホテルで清掃の仕事をしている男性は、徐々に仕事に慣れてきたようだ。なごやかなキャラクターが共同生活の中でもよい雰囲気を作り出している。

○まちなかキッチンで皿洗いをしている男性は、午前中にコペルくんの手伝いに入っている。メモ帳に子どもたちの名前を書き覚える努力をしている。

○引きこもりの生活が長かった男性は、共同生活者と口論になり、出て行ったきり帰ってこなかった。数日後和歌山市にいたことがわかり再度受け入れることになった。

○高校の先生だった男性は、精神科の病院に通いつつ徐々にいろんな作業をすることができるようになった。様子を見つつ見守っていきたい。

○調理経験のある男性は今月半ばに仕事の面

接を受け、ホテルに就職した。無理のない範囲ででき始めている。

自殺予防活動

・コペルくんサマースペシャル

8月5日から9日までお泊り会を行った。今年は学年によってお泊りできる期間を分けた。1、2、3年生は1泊2日。4年生は3泊4日。5、6年生は4泊5日だ。

5、6年生はこの期間の間にハンドベルに挑戦。最終日には2曲だけのハンドベルコンサートを行った。



コペルくんサマースペシャルでは、毎日お昼ご飯の用意や片付けを子どもたちが協力して行う。夏休み中ほとんど毎日通ってきた子どもたちは、どこに何があるのか、いつ何をするのか理解し、はじめはできなかったことができるようになってきた。

お手伝いやイベントだけではなく、自由研究

と感想文、絵に力を入れた。一人一枚必ず絵を完成させることを目標に頑張ることができた。



・相談電話

3、10、17、24、31日に毎週休まず行った。今月も2名の相談員が続けてきてくださった。

・まちなかキッチン

高齢の方に向けて、やわらかいごはんのお弁当や肉と魚を両方入れたお弁当などを始めた。地域の必要に応えつつ前進していきたい。

*おかげさまで会報も100号を発行することができました。最近では会報を発行するのが遅くなることも多く申し訳ありません。今後とも白浜レスキューネットワークをよろしく願いいたします。